



季刊誌

さいがただより

National Hospital Organization Saigata Medical Center

2024年 夏号 Vol.44



発行：独立行政法人国立病院機構 さいがた医療センター 院長 佐久間 寛之 <https://saigata.hosp.go.jp/>
〒949-3193 新潟県上越市大潟区犀潟 468-1 TEL:025-534-3131 FAX:025-534-4824

〈基本理念〉「良い医療を安全に、心をこめて」

令和6年、さいがたが描く未来

さいがた医療センター 院長／Sai-DAT ディレクター 佐久間 寛之

皆さん、こんにちは。

夏の暑い時期、いかがお過ごしでしょうか。これを書いている今日（令和6年7月19日）は新潟の梅雨明けが発表され、いよいよ夏本番です。夏空、夕立、入道雲、ひまわり、夏草と一面緑の田んぼとセミの声。まぶしい季節になってきました。

さいがたは今、大きく変化しています。統合失調症の最後の希望である抗精神病薬「クロザピン」の処方を行った患者さんの数は、もうじき 100 名を越そうとしています。精神科急性期病棟の平均在院日数は約 2 ヶ月となり、入院した患者さんがより早期に地域に戻れる取り組みも加速しています。脳神経内科も「療養介護事業病棟」という新しいスタイルの病棟を開設し、神経難病の患者さんがより安心して日々を過ごし、豊かな暮らしを楽しめるように取り組んでいます。

数々の取り組みの中でもっとも大きなものは、上越総合病院との相互連携体制です。ご存知のとおり、上越地域の少子高齢化は予想を超えたスピードで進んでいます。どの病院も、コロナ禍後に財政難に苦しんでいます。その中で各病院とも、どのような将来のビジョンを描き、実践していくかに知恵を絞っています。

解決しなければならない課題の一つに、総合病院の後方支援があります。急速に高齢化する上越地域において、多くの総合病院が高齢救急患者さんの治療を懸命に行っています。そうなるといままで以上に、ていねいなリハビリテーションと退院支援が必要になってきます。

今までの医療は、総合病院のような大きな病院が中小の病院や医療機関を支援する、というイメージがありました。しかしいま、急性期をになう総合病院と、ていねいな退院支援を行う医療機関とが、これまで以上に密接に支えあう必要があります。

わたしたちさいがた医療センターはそのような大きな流れの中、上越総合病院の急性期医療の後方支援を行うこととしました。私たちにとって、これは新しい試みです。しかし今、どの病院も、急速に変化する社会の中で新しい試みと新しい判断を求められています。新しい一歩を踏み出す勇氣と知恵が求められています。

私たち病院の役割はなんでしょうか。それは医療を通じて、地域に暮らす皆さまの健康と暮らしに貢献することではないでしょうか。

私も今や、上越に居をかまえる上越市民の一人です。一人の上越市民として「上越に暮らしてよかった」「上越で老後を迎えるのは、なんて安心で心地よいことなんだろう」と思える医療体制を作りたいのです。

上越総合病院との関係からはじまった医療連携は、まだまだ始まったばかりです。まだまだ私たちがほかの医療機関のため、地域のために役に立てることはたくさんあります。

院内は多職種連携、院外は多機関・多資源連携。大小さまざまな連携の輪を広げ、支えあうことで、私たちは皆さまのお役に立ちたいと願っています。

「独立行政法人 国立病院機構 さいがた医療センター」

さいがた医療センターで提供している医療

当センターでは各診療科の専門性を活かしつつ、全人的医療を提供しています。

精神科

- 新潟県依存症専門医療機関・治療拠点機関として、依存症全般（アルコール、薬物、ギャンブル、ゲーム・インターネット等）の診療、および認知行動療法、ヨガ、スポーツ、筋トレ、アロマ、女性プログラムなど様々な治療プログラムを提供しています。
- 精神科急性期医療だけでなく、治療抵抗性統合失調症に対してクロザピンの治療を行っています。上越地域で唯一クロザピンの使用が認められている医療機関です。
- 修正型電気けいれん療法（mECT）を行っています。
- 精神科デイケア・訪問看護ステーションで地域での暮らしを支援しています。

脳神経内科

- 主にパーキンソン病、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症、筋萎縮性側索硬化症の薬物調整・リハビリテーション目的の入院を受け入れています。
- 令和6年1月から療養介護事業所「つむぎ」を開所しました。

重症心身障がい児(者)

- 一人ひとりのQOLの向上を考え、より豊かな生活となるよう環境づくりを行っています。
- 在宅の重症心身障がい児(者)のショートステイを受け入れています。

認知症医療

- 精神科、脳神経内科の各担当医師が連携して、幅広い視点から原因となる病気の特定に努めています。
- また、当院にはCTスキャン、MRIが設置されており、脳波計を用いたより精密な検査や臨床心理士による神経心理学検査も実施可能です。お気軽にご相談ください。

デイケア

- 当院では、社会生活機能の回復を目的として難病や精神障害を持つ人のデイケアを実施しています。
- 難病デイケアは、身体機能の維持・向上だけでなく、仲間づくりも支援しています。
- 精神科デイケアは、精神障がいの回復途上にある人が社会の中で自立した生活ができることを目指して実施しています。
- MCI（軽度認知症者）デイケアはじめました。
- 見学や相談、参加希望の方はお気軽にご相談ください。

特殊外来

- 脳ドックがあります。
- 頭痛外来と睡眠時無呼吸外来は中止となりました。

共同利用

- MRI (1.5T)、CT (80列)、脳波・神経伝達装置、超音波検査をご利用いただけます。
- ※RI検査装置が故障してしまい復旧の見込みがありません。ご不便とご迷惑をおかけしますがご容赦ください。

過去の講演会・研修会の動画は、YouTube さいがた医療センター公式チャンネル「SAI-チャンネル：さいがた医療センター」からご覧いただけます。



市民公開講座のご案内

- 日時 9月28日(土) 10:00～12:00
- 場所 上越市市民プラザ 2階 第1会議室
- テーマ「依存症って…病気？」
- 10:00～11:00 院長 佐久間寛之「これって…依存症？」
- 11:00～11:30 精神保健福祉士 藤崎直人「誰に相談したらいいの…？」
- 講演終了後、相談コーナーもあります。

さいがた健康まつり

- 日時 9月28日(土) 13:00～15:00
- 場所 上越市市民プラザ 2階 市民ギャラリーC
- 身体計測・お薬相談・リハビリ健康体操など
- 午前中に引き続き依存症の相談も受け付けます。

どちらも
事前予約不要
参加無料
お気軽にご参加
ください